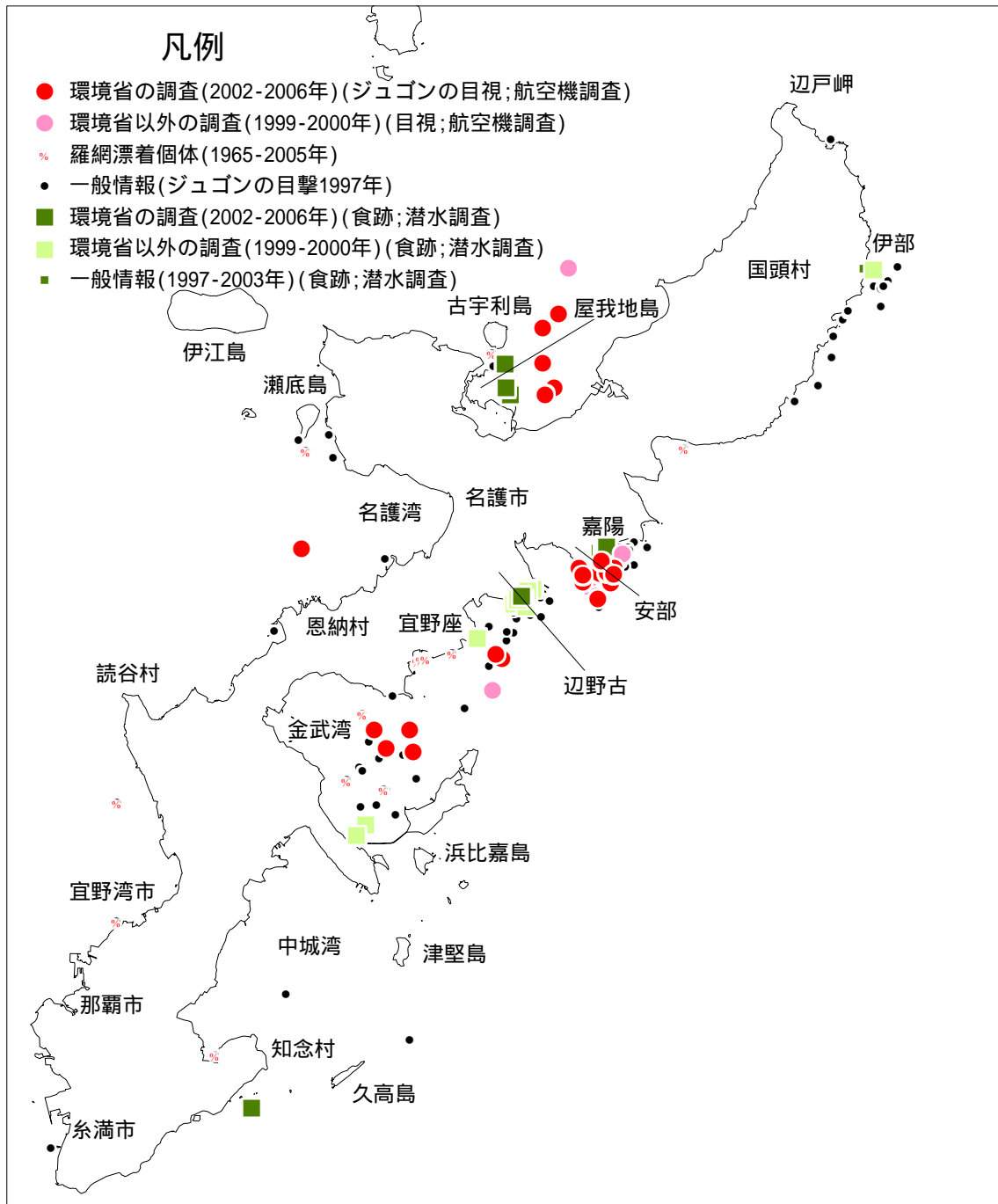


海棲動物の生息状況について

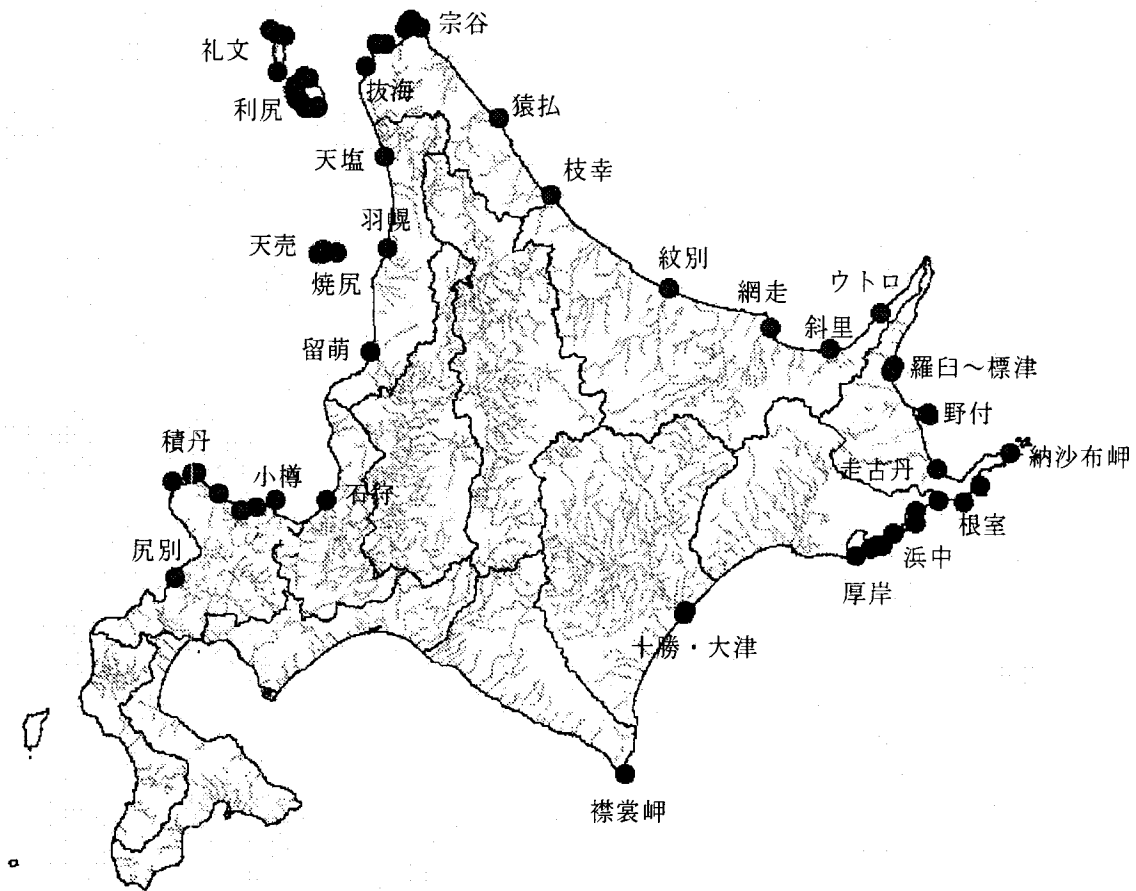
ジュゴン及びジュゴンの食跡確認位置



平成 17 年度ジュゴンと藻場の広域的調査報告書より抜粋

- ・ わが国のジュゴンはかつては奄美諸島から八重山列島までの南西諸島海域に広く分布していたが1960年代以降は正式な記録が無く(内田, 1998)現在は沖縄本島周辺のみで生息すると考えられる。
- ・ ジュゴンは沖縄本島周辺の東海岸の中北部と西海岸の北部を主として利用していると考えられる。

ゴマフアザラシ生息状況



北海道沿岸におけるゴマフアザラシの上陸場（アザラシ類生息状況等調査結果より）

- ・ベーリング海、オホーツク海、日本海および北部太平洋の一部に分布する代表的な氷上繁殖型アザラシ。北海道で観察される個体の大部分は冬季にロシア海域から南下してきたものと考えられ、日本海側に集中するが、一部の集団は夏季にも北海道東部の尾岱沼や風蓮湖に定着している。
- ・北海道での 2002～2005 年度の確認個体数はどの地域でも増加傾向にあり、特に日本海側での増加が著しい。
 *確認個体数 2003 年 319 頭 2006 年 1018 頭
 （なお、上記の頭数は、一斉個体数カウント調査の結果であり、ゴマフアザラシの生息数を表すものではない。）
- ・標識調査により、襟裳岬と北海道東部地方との間の移動が確認されている。

140°

145°

哺乳類分布図

種の多様性調査（動物分布調査）2002

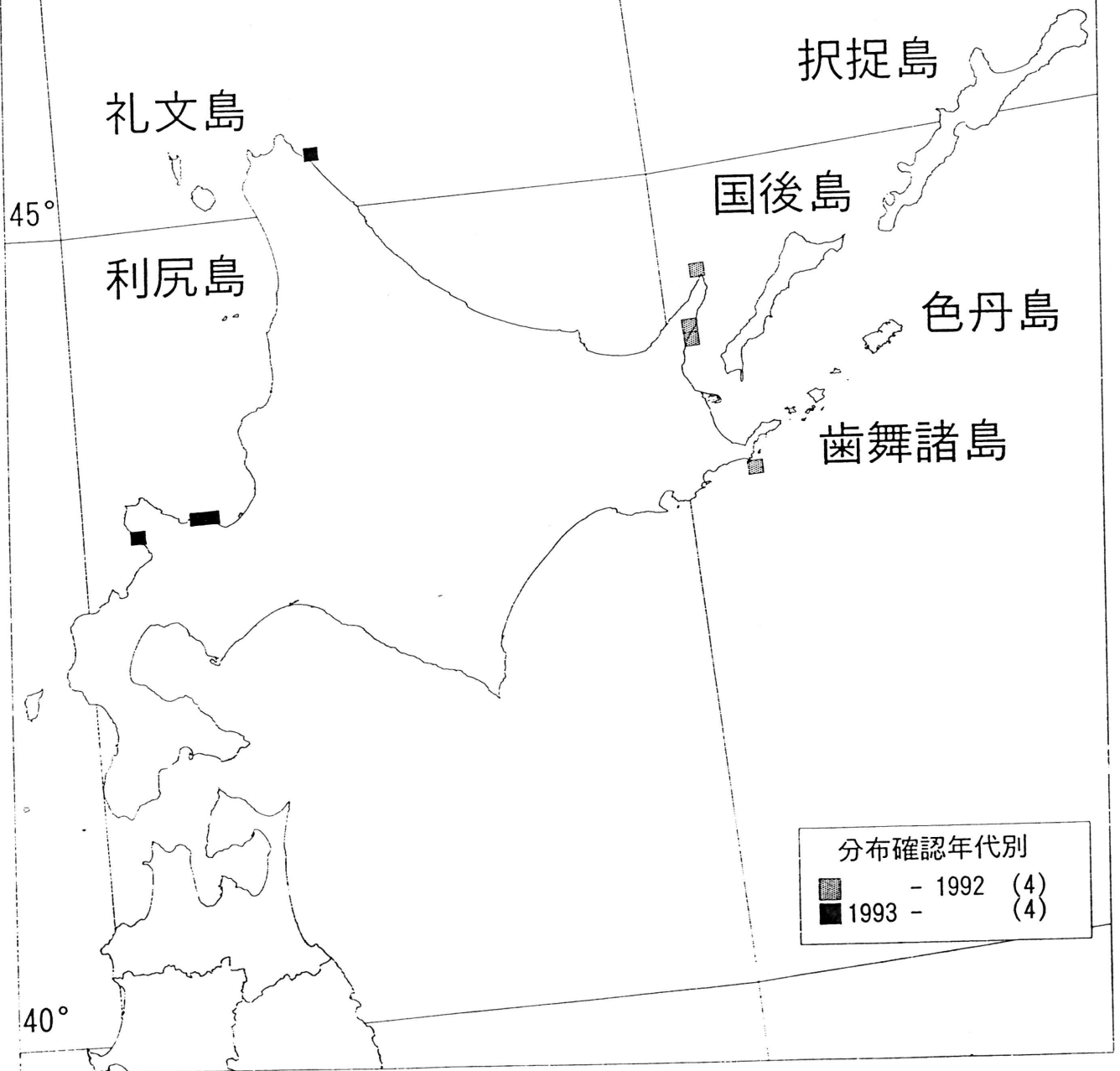
0740 トド

Eumetopias jubatus

8メッシュ RDBランク：VU

情報不足。

雄冬、礼文島のほか、奥尻島襟裳岬などの情報が
欠如。択捉島南端、歯舞諸島に上陸場あり。



哺乳類分布図

種の多様性調査（動物分布調査）2002

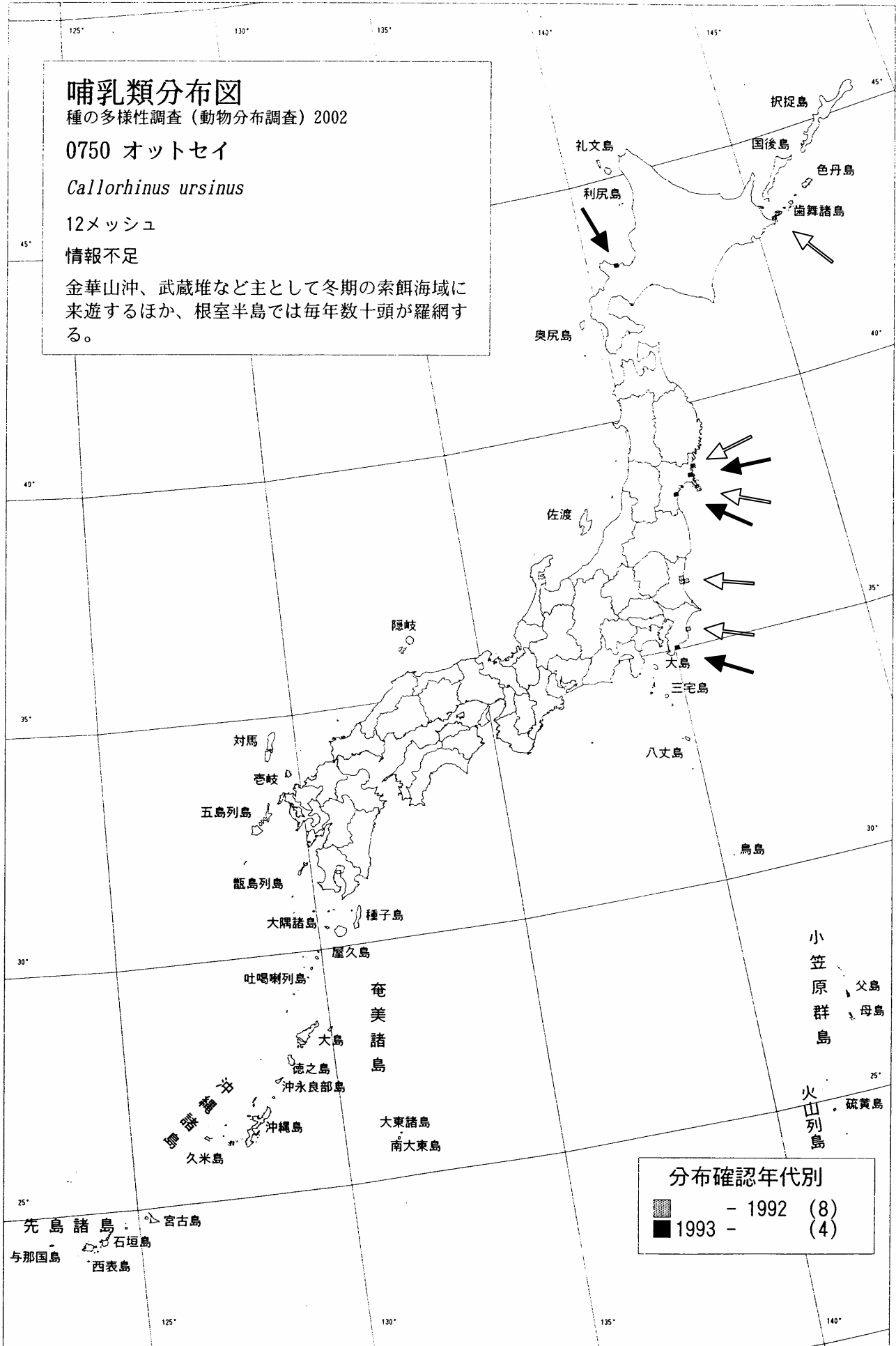
0750 オットセイ

Callorhinus ursinus

12メッシュ

情報不足

金華山沖、武蔵堆など主として冬期の索餌海域に
来遊するほか、根室半島では毎年数十頭が羅網す
る。

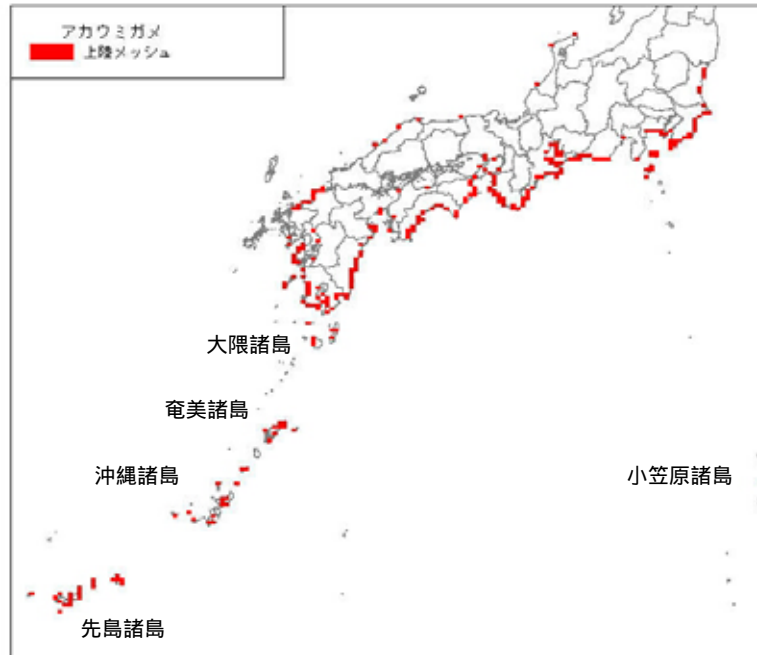


ウミガメ上陸地点分布

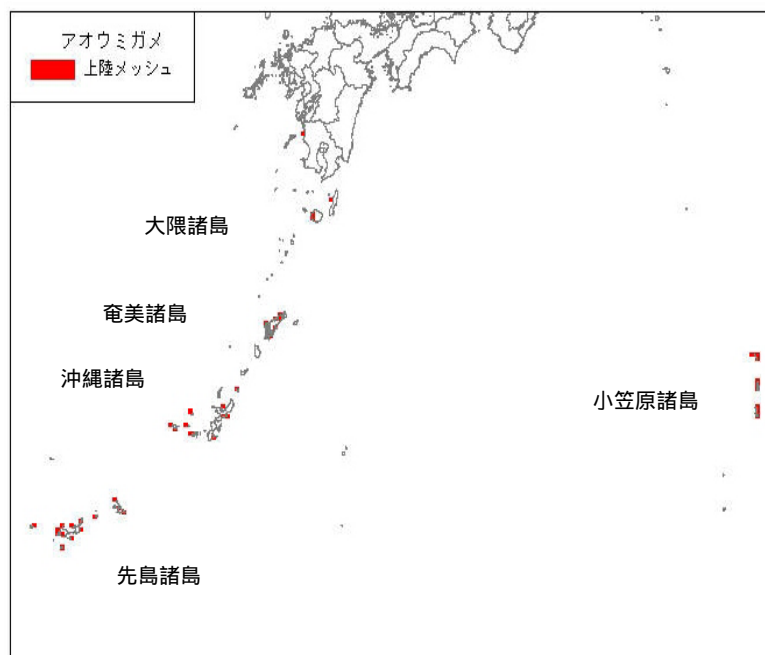
自然環境保全基礎調査・海棲動物調査（1997年）の結果によるアカウミガメとアオウミガメの上陸地点（1992～1996年）の分布を示した。

アカウミガメは関東以西の太平洋側で広く上陸が確認されている。アオウミガメは九州以南で上陸が確認されている。

アカウミガメ



アオウミガメ



アホウドリの分布

分布：伊豆諸島鳥島及び尖閣諸島だけで繁殖。広く北太平洋に分布。栄養分の湧き出る湧昇域に集まる。

1974年-1978年の分布

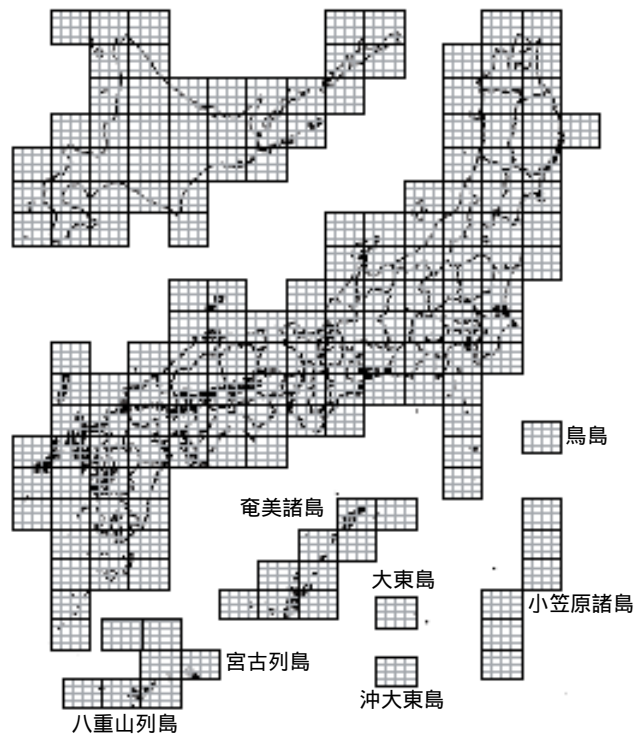
(昭和49年-53年)

メッシュ数

A = 0

B = 0

C = 0



1997年-2002年の分布

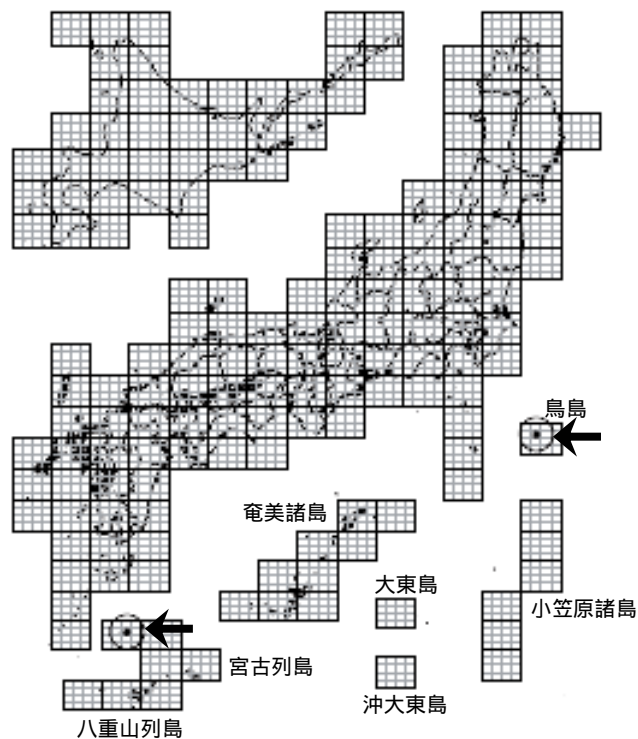
(平成9年-14年)

メッシュ数

A = 2

B = 0

C = 0



凡例

● A (繁殖を確認した)

● B (繁殖の確認はできなかったが、繁殖の可能性はある)

○ C (生息を確認したが、繁殖の可能性は、何ともいえない)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター（2004）第6回自然環境保全基礎調査

エトピリカの分布

分布：北海道東部で繁殖。冬は北海道の太平洋岸で越冬。北太平洋に広く分布。

1974年-1978年の分布

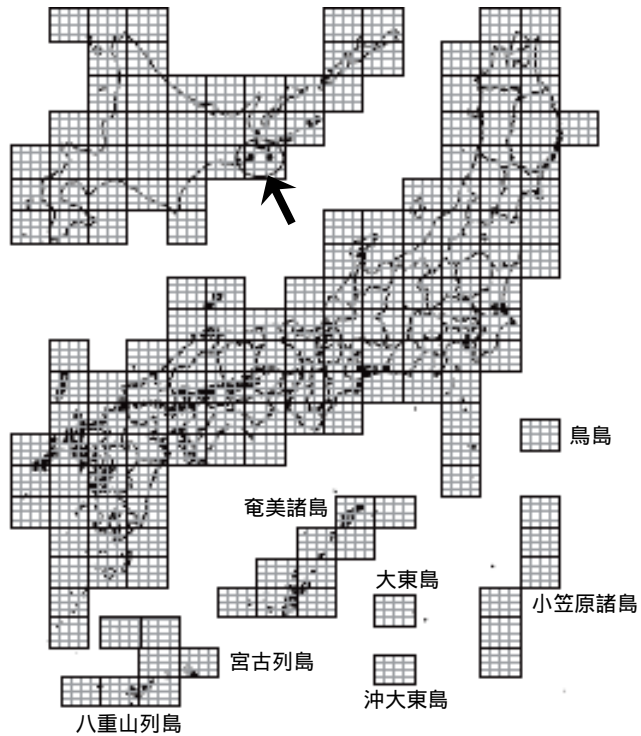
(昭和49年-53年)

メッシュ数

A = 2

B = 0

C = 0



1997年-2002年の分布

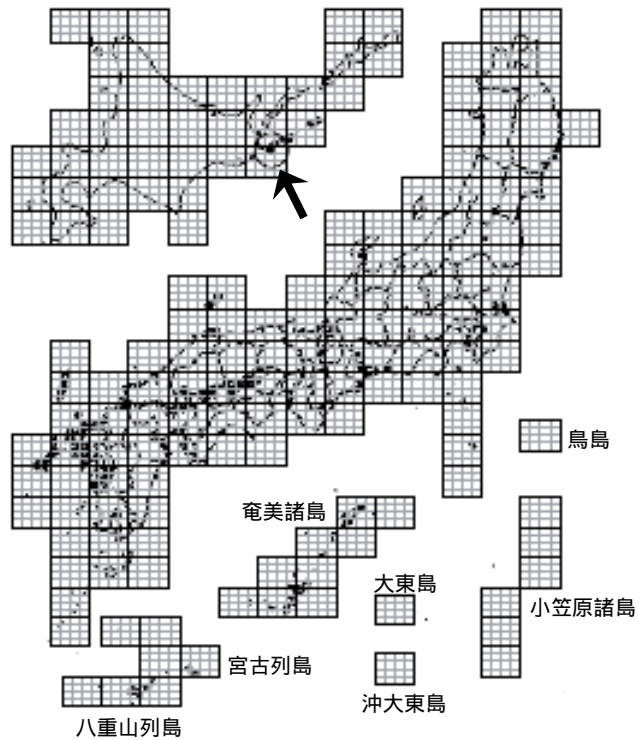
(平成9年-14年)

メッシュ数

A = 1

B = 0

C = 0



凡例

● A (繁殖を確認した)

● B (繁殖の確認はできなかったが、繁殖の可能性はある)

○ C (生息を確認したが、繁殖の可能性は、何ともいえない)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター（2004）第6回自然環境保全基礎調査